

## 活動報告

■活動日時：2024年10月5日（土）9：30～15：30

■プログラム名：アカマツ林整備作業

■目的：アカマツの保全、生育促進によるアカマツ群落の形成

■活動場所：アカマツ林 【キキョウの丘（A地区）、ソヨゴ谷（C地区）、タムシバ谷（D地区）エゴノキ谷（E地区）、コシアブラの尾根（F地区）】

■参加者：13名（内2名体験者）

■活動概要：草、萌芽枝刈り及び広葉樹の除伐、材処理

■活動内容

油山の天気は曇り、まずまずの作業日和となりました。

ミーティングでは先ず自己紹介を行い、作業内容と安全事項の確認、その後準備運動、道具準備を行った後、アカマツ林へ向かいました。

作業は3班に分かれて行いました。



・I班（6名）・・・草、萌芽枝刈り【場所：ソヨゴ谷（C地区）、タムシバ谷（D地区）の作業道と遊歩道間の斜面】

丈の伸びたカヤ類、シダ等の草、至る所に生えたヌルデやハゼ等の萌芽枝、棘のあるサルトリイバラやイヌザンショウに悩まされながら急な斜面で藪に埋もれるような状態で作業を進めました。

対象範囲の6割程度を刈り取る事が出来、だいぶスッキリした状態になりました。

・II班（3名）・・・広葉樹の除伐と材処理【場所と対象木：ソヨゴ谷のムクノキ（直径17cm）とコシアブラの尾根（F地区）のホオノキ（直径13cm）】

どちらも小径木でしたが重心と異なる方向への伐倒の為、基本通りロープを掛け、最後はクサビを打って狙い通りに倒しました。ムクノキは幹の玉切り、枝葉処理をしてイノシシが荒らした窪地埋めました。

ホオノキは木工用の材として活用する為、枝葉を落としてその場に残置し、自然観察センターに処理を引き継ぎました。



<広葉樹の除伐>

・III班（3名）・・・体験参加者に森を育てる会の活動紹介と草刈り【場所：遊歩道沿いきキョウの丘（A地区）階段、エゴノキ谷（E地区）～コシアブラの尾根】

ヤマハギは残し、ベンチ周りもきれいにして訪れた人が気持ちよく秋の散策が出来るように整備しました。

また体験参加者には伐倒作業の説明と見学も行き、活動に興味を持ってくださいました。新しい仲間が増えたことはとても嬉しいことです。

アカマツ林は傾斜地が多く、斜面で踏ん張るだけでも体力を使う作業にみんなで汗を流しました。アカマツ幼木が順調に生育していることが励みになります。



<斜面の草、萌芽枝刈り>



<体験者へ活動紹介>

タマゴタケ



<広葉樹の材処理>



<集合写真>